

越村委員（専門分野：津波工学）からのご意見

- ① 設計津波により、HAW及びTVFの全交流電源喪失が想定されることを明記するべき。
- ② 東北地方太平洋沖地震後の緊急安全対策として講じた浸水防止措置の高さT.P. + 14.4mについて、設定の考え方を示すこと。
- ③ HAWにおける入力津波の最大高さT.P. + 14.2mに対して、浸水防止措置をT.P. + 14.4mまで講じるとしているが、それより上に位置する開口部等の構造はどのようになっているのか、具体的に示すこと。
その上で、T.P. + 14.4mより上に位置する開口部から建屋内に流入する可能性について、どのように対応する方針か示すこと。
- ④ HAWの浸水防止扉については常時「閉」であること、TVFの浸水防止扉については常時「開」であり地震発生後に「閉」とすることを明記するべき。
その上で、津波の起因となる地震の影響を踏まえても津波が到達する前に「閉」とすることが可能であるかといった観点から、浸水防止扉の耐震性を今後の廃止措置計画の変更認可申請を通して確認していく旨を明記するべき。